

令和6年度第2回那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会総会 次第

日時 令和7年1月30日（木） 午後2時から

場所 那須野が原博物館 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

（1）令和6年度の事業経過について【資料 1-1、1-2、1-3】

（2）令和7年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について【資料 2-1、2-2、2-3】

（3）その他

○令和7年度の総会について

・第1回 日程：令和7年7月8日（火）14:00～15:00

場所：那須塩原西那須野庁舎 301～303 会議室予定

・第2回 令和8年1月30日（金）14:00～15:00

場所：那須塩原市西那須野庁舎 301～303 会議室予定

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

- ・那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 会員名簿
- ・【資料 1-1】令和6年度事業
- ・【資料 1-2】令和6年度事業報告
- ・【資料 1-3】令和6年度収支決算見込
- ・【資料 2-1】令和7年度事業（案）
- ・【資料 2-2】令和7年度事業（案）説明
- ・【資料 2-3】令和7年度事業収支予算（案）
- ・規約

令和6年度 日本遺産魅力発信推進事業

資料 1-1

事業区分	事業概要	予算額 (単位：円)	決算額(見込) (単位：円)
普及啓発事業	<p>日本遺産那須野が原演劇制作</p> <p>・日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」を題材とした演劇の作。</p> <p>※契約（令和6年8月23日）</p> <p>委託業者：一般社団法人 日本教育演劇道場（らくりん座）</p>	2,000,000	2,000,000
普及啓発事業	<p>日本遺産那須野が原フォト&カードラリー</p> <p>・構成文化財を巡って写真を撮り、その写真を博物館等の構成文化財有人施設で提示し、構成文化財カードを集める。</p> <p>※契約（令和6年9月30日）</p> <p>委託業者 砂川印刷株式会社</p>	1,000,000	745,965
観光事業	<p>日本遺産那須野が原デジタルスタンプラリー</p> <p>・構成文化財やその周辺スポットを周遊するデジタルスタンプラリーの実施。昨年度好評のため再度実施。</p> <p>※契約（令和6年9月2日）</p> <p>委託業者：東栄広告株式会社</p>	3,200,000	3,190,000
観光事業	<p>日本遺産パンフレット増刷（50,000部）</p> <p>・日本遺産の構成文化財等が掲載されたパンフレットの増刷</p> <p>※契約（令和7年1月6日）</p> <p>委託業者：有限会社アート美術印刷</p>	300,000	891,000
事業費計		6,500,000	6,826,965
総務費		800,000	800,000
合計		7,300,000	7,626,965

■ その他（新規）

◎日本観光振興協会による、協議会ごとに御周印を作成し、御周印帳に押印する周遊促進事業

令和6年度：無料で押印を実施

御周印帳は日本遺産関係イベントにて無料配布

令和7年度：有料（300円）で押印を実施

御周印帳は各協議会で販売

事業費：102,366円（御周印購入代）

150,000円（御周印帳100冊購入代）

1. 日本遺産那須野が原演劇製作

(1) 事業の目的

日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」のストーリーを題材にした演劇を制作し、幅広い世代の郷土愛の醸成と次世代への継承につなげることを目的とする。

(2) 事業の内容

- ・日本遺産のストーリーを分かりやすく、より身近に感じてもらえるような演劇を作成する。
- ・令和 6、7 年度の 2 か年計画で制作し、令和 7 年度の日本遺産の日（2 月 13 日）付近に上演する。
- ・演劇の脚本を作成する際は、有識者のワーキンググループを作成し、内容についてアドバイスをいただく。
- ・多くの方へ効果的に周知するため、日本遺産の構成市町で公演を行う。
- ・幅広い世代に親しまれるよう、希望があれば学生や演劇関係の方等へ脚本を提供し、実演してもらう。
- ・アンケートを実施し、参加者の情報や意見・感想の集計・分析をする。

(3) 実施状況

1 年目（演出・脚本制作）

- ・8 月 26 日～8 月 27 日：脚本家及びらくりん座の構成文化財現地視察
- ・11 月 28 日：脚本の第一校提出
- ・1 月 17 日：第 1 回ワーキンググループ開催
- ・1 月 24 日：脚本・演出家及びらくりん座との打合せ
- ・2 月中旬：第 2 回ワーキンググループ開催予定
- ・2 月中：脚本・演出家及びらくりん座との打合せ予定
- ・3 月完成予定

令和 7 年度（上演）

- ・日本遺産の日（2 月 13 日）付近の日程で上演予定。

2. 日本遺産那須野が原フォト&カードラリー

(1) 事業の目的

日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の構成文化財を巡ることで周遊を促進するとともに、構成文化財の写真や説明が書かれた文化財カードを配布することによって、日本遺産那須野が原を構成する文化財について知ってもらう。

(2) 事業の内容

- ・構成文化財を巡って写真を撮り、その写真を博物館や資料館等の有人の構成文化財施設で提示することで、当該構成文化財カードを配布する。
- ・構成文化財カードを全部または一定数集めることで、カードフォルダーや特別なカードを配布する。

- ・SNSへ投稿をした方には、オリジナルのステッカーを配布する。

(3) 実施状況

- ・11月13日～カード配布開始（2か月に1度構成市町にカードの在庫状況の確認。）
- ・HP等で状況報告

3. 日本遺産那須野が原デジタルスタンプラリー

(1) 事業の目的

日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の構成文化財や周辺スポットを周遊する、幅広い世代が参加できるデジタルスタンプラリーを実施することで、日本遺産那須野が原のストーリーや構成文化財の魅力を多くの人に知ってもらうとともに、観光客の誘客と滞在時間の延長・周遊の促進を図ることを目的とする。

昨年度、同様の事業を実施したが、大変好評だったため、再度実施した。

(2) 事業の内容

- ・構成市町内にある日本遺産構成文化財や周辺観光スポット等を含めたエリアの周遊を促進するため、デジタルコンテンツを活用したスタンプラリーを実施した。
- ・広く参加が促されるよう、スタンプの獲得数に応じた賞品を設定し、抽選で賞品を贈呈する。
- ・効果的な周知が図られるよう、スタンプラリーの広報PRを行った。
- ・構成文化財だけでなく、周辺観光スポット等にもスタンプを設置することで、地域経済の活性化を図った。
- ・アンケートを実施することで、参加者の情報や周遊の行動履歴等を集計・分析する。

(3) 実施状況

- ・8月13日～1月31日：スタンプラリー開催（11月末時点参加者数：767人）
- ・2月～3月：抽選・賞品発送
- ・3月中旬：アンケート分析の報告書提出

4. 日本遺産パンフレットの増刷

(1) 事業の目的

平成30年度の日本遺産認定当初に発行した、日本遺産構成文化財等記載のあるパンフレットの在庫が僅かとなったため増刷する。

(2) 事業の内容

- ・日本遺産概要パンフレットの印刷製本を行う。
- ・内容について、時点校正を行う。

(3) 実施状況

- ・12月：実施起案及び見積依頼
- ・1月：契約及び校正依頼
- ・2月～3月上旬：納品

令和6年度那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 収支決算見込

資料1-3

収入の部

(単位：円)

項目	予算額 (A)	決算見込額 (B)	比較 (A-B)	備 考
1.補助金	0	0	0	
(1)国庫補助金	0	0	0	文化芸術振興費補助金 (令和2年度で、国の補助期間である3年間が終了)
2.負担金	7,000,000	7,000,000	0	構成市町負担金
(1)那須塩原市	7,000,000	7,000,000	0	那須塩原市で、総事業費を負担金として一括で支出
※総務費分	443,000	443,000	0	※協議会の運営等の費用
※(2)大田原市	204,000	204,000	0	※那須塩原市へ納入
※(3)矢板市	112,000	112,000	0	※那須塩原市へ納入
※(4)那須町	127,000	127,000	0	※那須塩原市へ納入
3.貸付金	0	0	0	構成市町貸付金
(1)那須塩原市	0	0	0	(国庫補助期間が令和2年度で終了したため、貸付金の制度についても令和2年度で終了)
(2)大田原市	0	0	0	
(3)矢板市	0	0	0	
(4)那須町	0	0	0	
4.繰越金	2,356,661	2,356,661	0	
(1)繰越金	2,356,661	2,356,661	0	前年度繰越金
5.雑収入	40	159	△ 119	
(1)雑収入	40	159	△ 119	預金利子
合計	9,356,701	9,356,820	△ 119	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額 (C)	決算見込額 (D)	不用額 (C-D)	備 考
1.総務費	800,000	456,564	343,436	
(1)旅費	400,000	399,820	180	出張旅費等
(2)需用費	300,000	32,514	267,486	消耗品、契約用収入印紙等
(3)役務費	80,000	4,230	75,770	振込手数料、通信運搬費
(4)委託料	0	0	0	
(5)負担金	20,000	20,000	0	日本遺産連盟負担金
2.事業費	6,200,000	7,079,331	△ 879,331	
(1)組織整備	0	0	0	
(2)戦略立案	0	0	0	
(3)人材育成	0	0	0	
(4)整備	0	0	0	
(5)観光事業	3,200,000	4,081,000	△ 881,000	デジタルスタンプラリー、パンフレット増刷
(6)普及啓発	3,000,000	2,998,331	1,669	演劇、フォト&カードラリー
(7)情報編集・発信	0	0	0	
3.貸付金返還金	0	0	0	
(1)貸付金返還金	0	0	0	
4.予備費	2,356,701	0	2,356,701	
(1)予備費	2,356,701	0	2,356,701	
合計	9,356,701	7,535,895	1,820,806	

収入額(見込)	9,356,820円
支出額(見込)	7,535,895円
差引	1,820,925円

令和7年度へ繰越(見込)

令和 7 年度 日本遺産魅力発信推進事業（案）

資料 2-1

事業 区分	事業概要	予算額 (単位：円)
普 及 啓 発 事 業	<p><u>日本遺産那須野が原演劇制作</u></p> <p>・日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」を題材とした演劇の制作及び公演。（2 か年計画の 2 年目）</p>	2,500,000
普 及 啓 発 事 業	<p><u>（仮）日本遺産那須野が原ノベルティ等の作成</u></p> <p>・日本遺産のイベントや PR 事業の際に、より効果的に周知・啓発ができるようノベルティ等を作成。</p>	1,500,000
観 光 事 業	<p><u>（仮）日本遺産那須野が原周遊バスツアー</u></p> <p>・日本遺産の構成文化財を周遊するバスツアーを実施。</p>	2,200,000
事業費計		6,200,000
総務費		800,000
合計		7,000,000

■ その他

◎ 「日本遺産 御周印」事業

当初の御周印帳については、協議会で 100 冊購入。

毎月文化庁の委託業者へ押印数の報告。

■ 検討

◎ 一般社団法人那須塩原観光局の協議会事務局加入の検討

令和 6 年の日本遺産更新の際に、協議会で収入を得られるような仕組みを作るよう文化庁から指摘があったため、DMO である一般社団法人那須塩原市観光局を事務局に加入。

1. 日本遺産那須野が原演劇制作及び公演

(1) 事業の目的

日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」のストーリーを演劇で伝えることにより、郷土愛の醸成と次世代への継承につなげることを目的とする。

(2) 事業の内容

- ・日本遺産那須野が原のストーリーを演劇として制作する。
- ・令和6、7年度の2か年計画で制作し、令和7年度の日本遺産の日(2月13日)付近に上演する。

(3) 実施方法

一般社団法人 日本教育演劇道場(らくりん座)との随意契約

(4) スケジュール

- ・4月：契約
- ・5～2月：練習・大小道具作成

2. (仮) 日本遺産那須野が原ノベルティの作成

(1) 事業の目的

・日本遺産のイベントや PR 事業の際に、より効果的に周知・啓発ができるよう、既に作成したノベルティの増産及び新たなノベルティを作成する。

(2) 事業の内容

- ・既に作成したノベルティの中で好評だったノベルティを増産する。
- ・新たに日本遺産を PR できる様、協議会の法被等を作成する。

(3) 実施方法

見積合わせにて契約

(4) スケジュール

ノベルティの在庫が少ないため作成する。

3. (仮) 日本遺産那須野が原周遊バスツアー

(1) 事業の目的

日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」構成文化財等を周遊するバスツアーを実施することで、日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の認知度向上、観光客による地域経済の活性化を目的とする。

(2) 事業の内容

・日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の構成市町内にある構成文化財周辺観光スポットをバスで周遊する。

(3) 実施方法 未定

(4) スケジュール 未定

令和7年度那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 収支予算(案)

資料2-3

収入の部

(単位：円)

項目	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較 (A-B)	備 考
1.負担金	7,000,000	7,000,000	0	構成市町負担金
(1)那須塩原市	7,000,000	7,000,000	0	那須塩原市で、総事業費を負担金として一括で支出
※総務費分	443,000	443,000	0	※協議会の運営等の費用
※(2)大田原市	204,000	204,000	0	※那須塩原市へ納入
※(3)矢板市	112,000	112,000	0	※那須塩原市へ納入
※(4)那須町	127,000	127,000	0	※那須塩原市へ納入
4.繰越金	1,820,925	2,356,661	△ 535,736	
(1)繰越金	1,820,925	2,356,661	△ 535,736	前年度繰越金
5.雑収入	40	40	0	
(1)雑収入	40	40	0	預金利子
合計	8,820,965	9,356,701	△ 535,736	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額 (C)	前年度予算額 (D)	比較 (C-D)	備 考
1.総務費	800,000	800,000	0	
(1)旅費	680,000	400,000	280,000	出張旅費等
(2)需用費	35,000	300,000	△ 265,000	消耗品、契約用収入印紙等
(3)役務費	65,000	80,000	△ 15,000	振込手数料、通信運搬費
(4)委託料	0	0	0	
(5)負担金	20,000	20,000	0	日本遺産連盟負担金
2.事業費	6,400,000	6,200,000	200,000	
(1)組織整備	0	0	0	
(2)戦略立案	0	0	0	
(3)人材育成	0	0	0	
(4)整備	0	0	0	
(5)観光事業	2,200,000	3,200,000	△ 1,000,000	観光バスツアー
(6)普及啓発	4,200,000	3,000,000	1,200,000	演劇、ノベルティ、WG
(7)情報編集・発信	0	0	0	
3.予備費	1,620,965	2,356,701	△ 735,736	
(1)予備費	1,620,965	2,356,701	△ 735,736	
合計	8,820,965	9,356,701	△ 535,736	

■ 令和7年度の日本遺産の財源及び構成市町の負担について

・令和6年度までと同様に、那須地域定住自立圏の特別交付税を活用する。

・那須塩原市は、年度当初に負担金を一括で支出するが、実際に負担する金額は、総事業費から、他市町の負担金及び特別交付税の交付額を引いた額となる。

那須塩原市から協議会への負担金	7,000,000	
各市町負担金(※総務費分)	443,000	※大田原市＋矢板市＋那須町
特別交付税算入額	6,557,000	※総事業費－各市町負担金
特別交付税交付額	5,245,000	※特別交付税算入額の8割(※千円未満切捨て)
那須塩原市が実際に負担する額	1,312,000	※総事業費－各市町負担金－特別交付税交付額

那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 会員名簿

別紙

NO	区分	団体等名称	役職	氏名	構成市町
1	構成市町	那須塩原市	市長	渡辺 美知太郎	那須塩原市
2		那須塩原市教育委員会	教育長	月井 祐二	那須塩原市
3		大田原市	市長	相馬 憲一	大田原市
4		矢板市	市長	森島 武芳	矢板市
5		那須町	町長	平山 幸宏	那須町
6	文化財関連団体	那須野ヶ原土地改良区連合	理事長	渡辺 美知太郎	広域
7		那須疏水土地改良区	理事長	渡辺 美知太郎	広域
8		那須文化研究会	会長	木村 康夫	広域
9		那須野が原西部田園空間博物館運営協議会	会長	田口 常信	那須塩原市
10		ふるさとを知る会	会長	直篁 浩子	大田原市
11	観光・産業関連団体	那須塩原商工会	会長	人見 和夫	那須塩原市
12		西那須野商工会	会長	大倉 太喜生	那須塩原市
13		黒磯観光協会、西那須野観光協会、塩原温泉観光協会	西那須野観光協会会長	八巻 文子	那須塩原市
14		大田原市商工団体連絡協議会	会長	玉木 茂	大田原市
15		大田原市観光協会	会長	吉岡 博美	大田原市
16		矢板市商工会	会長	東泉 清寿	矢板市
17		矢板市観光協会	会長	高柳 眞知子	矢板市
18		那須町商工会	会長	薄井 正明	那須町
19		那須町観光協会	会長	阿久津 千陽	那須町
20		那須野農業協同組合	代表理事組合長	渡邊 一夫	広域

那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 役員(令和6年度)			
	氏名	構成市町	団体等名称
会長	渡辺 美知太郎	那須塩原市	市長
副会長	相馬 憲一	大田原市	市長
	森島 武芳	矢板市	市長
	平山 幸宏	那須町	町長
監事	吉岡 博美	大田原市	大田原市観光協会会長
	阿久津 千陽	那須町	那須町観光協会

那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会（以下「協議会」という。）という。

(目的)

第2条 協議会は、日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」(以下「日本遺産」という。)について、ストーリーに関連した歴史や文化遺産を整備・活用し、国内外に広く発信するとともに、観光振興を図り、地域活性化を推進することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 国内外に向けた日本遺産の情報発信に関すること。
- (2) 日本遺産ストーリーの理解の促進及び普及啓発に関すること。
- (3) 日本遺産の魅力の向上並びに周辺環境等整備に関すること。
- (4) 日本遺産を活用した観光産業等の振興に関すること。
- (5) その他協議会の目的を達成するために必要と認められること。

(会員)

第4条 協議会は、日本遺産の魅力発信及び普及啓発に関わる自治体の関係部局、文化財関連団体、観光・産業関連団体等で組織する。

- 2 会員の任期は、1年とし再任を妨げない。
- 3 会員の追加は、会長の承認を得るものとする。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 監事 2名

(役員を選任及び任期)

第6条 役員は総会において選任する。

- 2 役員任期は、1年とし再任を妨げない。
- 3 補欠により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員は、任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

(役員職務)

第7条 会長は、協議会を代表し会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代行する。
- 3 監事は、協議会の会計を監査する。

(総会)

第8条 この協議会の総会は、会長が招集し、その議長となる。

2 総会は、次に掲げる事項を審議し、及び議決する。

- (1) 役員の選任に関する事。
- (2) 事業計画の策定に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) 規約の制定及び改廃に関する事。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の運営に関わる重要事項の決定に関する事。

3 総会は、会員の過半数の出席がなければ開くことができない。

4 総会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

5 総会に出席できない会員は、必要に応じて、あらかじめ会長に報告したうえで、代理の者を出席させることができる。

(運営部会)

第9条 会長は、協議会の円滑な運営を図るため、必要と認めるときは、総会の議決を経て、運営部会を置くことができる。

2 運営部会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第10条 協議会の事務局は、那須塩原市教育委員会教育部生涯学習課に置く。

2 事務局について必要な事項は、会長が別に定める。

(会計)

第11条 協議会の運営に必要な経費は、助成金、負担金、協賛金その他の収入をもって充てる。

2 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、設立年度は設立の日から翌年3月31日までとする。

3 会長は、毎会計年度予算を調製し、総会の承認を得なければならない。

4 協議会の出納は、会長が行う。

5 会長は、毎会計年度終了後に決算を調製し、監査に付した後、総会に報告しなければならない。

6 前各項に定めるもののほか、協議会の会計について必要な事項は、総会で定める。

(協議会解散の場合の措置)

第12条 協議会が解散する場合においては、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長がこれを決算する。

(補則)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規約は、平成30年6月20日から施行する。